

デジタル田園都市国家構想交付金事業実施状況及び事業の評価								
事業名	地域の未来をつなぐ若者応援事業							
交付金名	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)							
事業年度	令和6年度～令和8年度(3年間)							
事業概要及び事業費	「ふるさと養父市」の地元愛着感を醸成する事業を実施する。行政のみならず、民間中小企業、医療機関、保育、介護施設等が応援してくれているという安心感を学生等の若者に与える事業とする。							
	年度	事業概要					事業費	
	R6	【キャリアトーク事業】 市内高校生を対象に市内事業者と協働で「仕事・くらし等の紹介」を通じて進路や就職、資格取得などのキャリアについて考える機会を創出し、職業観を養う。参画する事業者の魅力発信の機会、人材確保、事業継承、地域経済の振興が見込める事業。 報償費 4千円×28事業者＝112,000円 【コミュニケーションワークショップ事業】 但馬地域にある兵庫県立芸術文化観光専門職大学の講師を招聘し、高校生を対象にコミュニケーションの大切さを体感する機会を開設する。 委託費 528,000円					640千円	
	R7							
	R8							
計						640千円		
KPI	評価指標(KPI)	開始前 R4	目標値			実績値		
			R6	R7	R8	R6	R7	R8
	① やぶ暮らし住宅支援奨励金を活用して移住してきた人数	84人	89人 (前年から5人増)	99人 (前年から10人増)	134人 (前年から35人増)	103人		
	② U・Iターン奨励金に申請してきた件数	20件	22件 (前年から2件増)	25件 (前年から3件増)	30件 (前年から5件増)	46件		
	③ 将来、養父市に住みたい(戻りたい)学生の割合	30%	32% (前年から2%増)	35% (前年から3%増)	40% (前年から5%増)	28%		
事業評価	R6	市内外の事業所と連携し、講師として若手社員等(延べ 45人)を派遣していただき、市内の2つの高校でキャリアトーク事業を実施した。学生らが将来を考える機会となり、また参加事業者にも大変好評であった。また、兵庫県立芸術文化観光専門職大学の講師を招聘し、市内3つの高校で高校生を対象にコミュニケーションワークショップを実施し、コミュニケーション力向上に寄与した。						
	R7							
	R8							
担当課	やぶぐらし・地方創生課							